

## 「花ももの里」活性化事業

### 取組に至る背景・事業の目的

- 佐久穂町大石地区では、以前から多くの家で花ももを植えていたが、平成 18 年に国道 299 号線が国土交通省の「日本風景街道」に指定されたのを機に、地区の景観を発展させることを目的に、「大石花ももの里実行委員会」は結成された。
- 平成 19 年度から 21 年度にかけて、地域発元気づくり支援金を活用して、景観形成・環境保全のための事業を行った。
- 平成 22 年度からは、更なる地域の活性化を目指して、特産品の開発などの活性化事業に着手し、平成 23 年度は、「花ももまつりの開催」及び特産品の商品化を行うこととなった。



【花ももまつり】

### 事業内容

- 「第 1 回大石花ももまつり」の開催  
5 月 1 日に、地域発元気づくり支援金を活用して整備した公園を中心に、「第 1 回大石花ももまつり」を開催した。
- 特産品の開発  
「第 1 回大石花ももまつり」等で花ももの果実を使ったケーキ 2 種と葉エキス入り石鹸のモニタリングを実施した。
- 「花ももの里」ロゴマークの作成



【花ももケーキ】

### 事業効果

- 「第 1 回大石花ももまつり」では、運営スタッフとして会員以外にも、地域住民や東京都府中市（佐久穂町の姉妹都市）からの方々も参加しており、年間を通じた交流につなげることができた。
- 特産品について、「花ももケーキ」及び「花もも石鹸」が商品化され、花ももの里の PR に役立てることができた。



【花もも石鹸】

### 工夫・苦労した点、課題、今後の取組など

- 「大石花ももまつり」については、毎年 5 月第一日曜日に開催することとなり、平成 24 年度は 5 月 6 日に開催され、盛況のうちに開催された。
- 特産品の「花ももケーキ」及び「花もも石鹸」については、「大石花ももまつり」のほか、佐久穂町内外でのイベント等で継続的に販売をしており、販売の収益を会の活動費としている。
- 最終的には、「花もも」と言えば「さくほの大石」と誰もが思い浮かべるような地域を目指して今後も活動を続けていく。

#### 【選定のポイント】

「花ももまつり」や花もも関連商品の開発を通じて地域の活性化、地域間交流を図ることができた。

団体名	大石花ももの里実行委員会 (佐久穂町)	事業タイプ	ソフト・ハード事業
連絡先	代表 島崎規子	事業費	853,309円
		支援金額	737,000円